



「甲賀看護専門学校同窓会誌 創刊号に寄せて」

甲賀看護専門学校 学校長 富永 芳徳

令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症は世界中でパンデミックとなり、日本においても、ワクチン接種にもかかわらず令和4年12月には第8波の流行となり、無症状の感染者を含めると人口の半数以上が感染したとされます。社会・経済・文化活動は停滞し、医療も逼迫し、危機的な状況が続いています。このような状況下で中心となって大活躍していただいているのが看護師の皆さんであります。甲賀看護専門学校同窓会会員の皆様も各地域で活躍しておられることに敬意を表するものであります。

甲賀看護専門学校の同窓会は平成30年2月3日に発足し、記念式典が挙行されましたが、今回同窓会誌創刊号が発刊されることになりました。振り返ってみますと、甲賀看護専門学校の前身は昭和16年甲賀病院附設私立看護婦学校として設立され、制度改正により、昭和27年3月に准看護婦養成所に指定され、平成12年3月閉校になるまでの59年間に499名の卒業生があり、進学者も多く各地域で活躍され、特に公立甲賀病院においては平成11年当時、看護師総数245名のうち卒業生が107名（44%）で病院の中核として機能して頂きました。准看護学校が発展的に閉校され平成13年4月に甲賀看護専門学校が1学年40名の定員で開校し、22年となり令和5年3月には第20期生が卒業し、同窓会員は639名となっています。

甲賀看護専門学校の教育理念は、「看護に必要な知識・技術・態度を身につけ、保健・医療・福祉にわたる広い視野と科学的思考を基盤とした看護の実践力を養い、生命の尊重と人間愛を基調とした豊かな人間性を育み、自分の考えを持った行動力のある人材育成を目指す」であり、会員の皆さんがこの理念に基づき公立甲賀病院はじめ、県内外で日夜献身的な看護を实践し、活躍しておられることを大変頼もしく嬉しく思っております。

しかし、人である以上人生において悩みや苦しみなどさまざまな試練に直面することもあると思われま



私に。私の尊敬する「京セラ」創業者の故稲盛和夫氏は人生における6つの指針を説いておられます。それは、①誰にも負けない努力をする、②謙虚にして驕らず、③反省のある毎日を送る、④生きていることに感謝する、⑤善行、利他行を積む、⑥感性的な悩みをしない、というものであります。

日本は今世界一の少子超高齢人口減少社会となっており、社会・経済・医療・福祉の将来が見通しにくい時代となっています。しかしこの6つの精進を心がけて一人一人が努力すれば将来展望は明るく道は開かれると信じています。

甲賀看護専門学校は会員の皆様の心の故郷であり、同窓会誌により会員同志の交流を深化し、病を持つ患者さんに寄り添い、癒し、明るく前向きな人生を歩み続け社会貢献していただくことを祈念して同窓会誌創刊号の挨拶とさせていただきます。





「同窓会誌発行を祝して」

甲賀看護専門学校

初代副学校長 石橋 明子

甲賀看護専門学校の卒業生の皆様、同窓会誌発行、おめでとうございます。開校22年後には608名が卒業されたと同じ、準備室から九年間に亘り在職させて頂いた職員としては喜びに堪えません。

開校にあたり学生が希望・誇りを持てるよう、また、厳しい専門教育への癒しになるよう校舎の色、外観、内装に工夫を凝らしました。そして、シンボルとなる花は、花言葉が「親しき愛」である「チューリップ」に決定しました。玄関には二枚のレリーフが飾られています。一枚は、周りの影響を受けながら変容・成長していく一、二、三年生を表現しています。もう一枚のチューリップは、一人の学生が三年間で咲かせる三個の花を表現しています。玄関には教育理念が凝縮しています。

行事では格調高い入学式、卒業式を、親睦会、チューリップ祭は学生が主体的に企画し教職員も一緒に参加する事で、日頃は見受けられない学生の新たな姿に、感激

後期高齢者の仲間入りをし、健康寿命を少しでも長くしようと一日6,000歩を目標に歩き、地域の方と一緒に週2~3回、グランドゴルフを楽しんでいる日々です。

卒業生の皆さんが、地域で活躍されている姿を想像するだけで嬉しくなります。これから病院にお世話になると思いますが、その節にはよろしく願います。

させられました。また、学生は食欲旺盛で善哉・鍋・豚汁などを一緒に作り食しました。楽しい思い出は限りありませんが、初めて運転免許更新以外の件で警察に呼び出されたり、学生の付添いとして救急車にも乗りました。今ではどれも懐かしい思い出です。

皆さんの母校は、これからまだまだ発展していく学校です。発展するためには卒業生のお力添えも欠かせません。皆様のご活躍の様子を情報提供して頂くと共に母校の良さを広めて頂くと幸いに存じます。

最後になりましたが、医療・保健・福祉の分野は更に専門性を深化して行きます。皆さんは、どの分野においても実力を発揮できる素地を備えておられます。更なる夢と希望を達成されるよう健闘を祈ります。

「甲賀看護専門学校卒業生よ、大志を抱け」



「あいさつ」

甲賀看護専門学校同窓会

会長 窪田 祥子

この度、同窓会会報の発刊によせて会員の皆様一言、ご挨拶申し上げます。

2018年2月3日、公立甲賀病院の講堂に1期生から14期生までの卒業生と教職員など45名が集まり、甲賀看護専門学校同窓会の設立総会が開催されました。開校時からの学校長である富永芳徳先生をはじめ、歴代の副学校長である石橋明子先生、小林美恵子先生もご出席くださいました。その場で同窓会規約が承認され、甲賀看護専門学校同窓会が正式に発足いたしました。

前任者から役割を引き継ぎ、2016年より元専任教員の細川洋子先生と共に、手探りの状態で準備を進めて参りました。同窓会創設が提案されてから、十数年の時を経てようやく設立に至った次第です。関係して下さった皆様には心より感謝申し上げます。

私は2004年に卒業し、母体病院である公立甲賀病院に就職しました。2012年に母校へ専任教員として勤務異動し現在に至ります。この10年間、教員として数々の経験いただきましたが、中でも新型コロナウイルス感染

症の拡大は教育現場に大きな影響をもたらしました。学習の制約を最小限にすべく、授業は勿論のこと、学内の演習、実習において多様な対応が求められ試行錯誤の連続でした。一気に進んだオンライン化の下で新しい学習環境が整い、まもなく3年が経とうとしています。医療現場においては逼迫が緩和されないなか、現場の最前線で奮闘する同士を尊ぶと同時に、自身が直接的な戦力になれない歯痒さを抱いていました。しかし、看護師不足がますます深刻化する現在、人材育成の重要性を痛感しています。教授する側になり、看護師育成には緻密な教育プログラムだけではなく多大な人員と経費、さらには熱意や愛しむ心を向けた関わりなどが必要であると気付きました。自身の看護師人生を振り返ると、先輩である諸先生方や同僚には「大切に育ててもらっている」という実感があります。看護師になるにも、在り続けるにも、お互いを大切に支え合う縦と横の繋がりは須要です。これまでに約608名の卒業生を輩出し、本会の会員数も卒業生と教職員、教職員OB・OGを合わせ大規模な組織となっています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり精力的な活動には至っていませんが、会報発刊を機に、会員相互の親睦と卒業生の繋がりを強化し、甲賀看護専門学校の発展および看護の質の向上に向けて活動を増やして参る所存です。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



「学生時代の思い出」

1期生 杉山 慎太郎

花の便りが北上する季節になりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

はじめまして。私は、甲賀看護専門学校1期生の杉山慎太郎です。卒業後は、看護師として市立長浜病院に就職し、平成25年には、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師免許取得、令和2年から出身地である長野県でグループホーム陽気という、認知症共同生活介護事業所の経営をしています。傍らで飯田女子短期大学看護学科兼任講師、非常勤実習助手をしながら、武蔵野大学通信教育部看護学コース在学中です。また、長野県看護協会看護師職能Ⅱ委員、長野県在宅老所グループホーム連絡会執行委員・グループホーム部会の副部長などもしております。

私は、平成13(2001)年の4月に甲賀看護専門学校に入学しました。学校からの合格通知に、嬉しさと今後の期待を抱き、ワクワクしたのを覚えています。浮かっていたのか、入学式前に行ったスノーボードで右手首を骨折し、スーツにギプスというスタイルで入学式を迎えました。看護学生時代といえば、かわいいと思って着ていた古着のシャツに対して「その服は何？」と聞かれたことを思い出します。見える景色は人それぞれ違うのだと知りました。また、若さも相まって、授業中よく居眠りをしてしまう傾向にありました。その際には、先生が私の横を通る度に起こしてくれたことを思い出します。

先生方は、私生活から看護学まで様々な相談に親身になって対応してくださいました。3年間大切に育てていただいたおかげで、人を大切にする心を基盤とした、現在の看護活動に繋がっています。同じ学舎で過ごした仲間にもまた会いたいと思いながら、今後も、未来の看護師のために、地域のために、社会のために貢献していきたいと思います。

在校生の声



「毎日充実しています」

21期生 竹中島 有耶

看護師になるため、クラスメイトと切磋琢磨しながら充実した毎日を送っています。しかし、コロナ禍での学習は、お互いの様子が見えないオンライン授業や実習期間の変更など不安を感じる出来事がたくさんあります。1年次の基礎看護学実習Ⅰは、初めての实習でもあり緊張と気合いっぱいで臨みました。しかし、最終日に感染拡大の予防の観点から、患者さんとお出合いできなくなりました。患者さんから頂いた温かな時間や言葉に、今日こそは看護でお返しすると意気込んだ矢先のことでした。とても残念な思いになっていたところ、指導者さんが手紙を書いてはどうかと提案してくださいました。そして、感謝の気持ちを手紙にして届けることが出来ました。会いたくても会えない、実践したくても出来ないという経験を通し、毎日後悔の無いよう力を尽くして看護を実践する大切さを学びました。

学習や実習の他に教科外活動も感染の影響を受けました。2021年度の学校祭は先輩方からの伝承を絶

やさぬよう、可能な形で開催されていました。2022年は盛り上がりを取り戻したく、感染状況を見ながら一部を公開し執り行いました。様々な制限がある中でも方法を工夫し、力を合わせれば成し遂げられるのだと実感しました。

2022年11月に履修した基礎看護学実習Ⅱでは、看護師の皆さんの高度で細やかな看護に憧れを抱きました。また、個別性に応じた看護実践は、患者さんについて思いを巡らせていけば見えてくることも分かりました。人の持つ回復力や可能性は無限だと思えます。将来は患者さんに安心感を与え、可能性を引き出せるユーモアのある看護師になりたいです。

学校は自然豊かで静かに勉強できますが真冬はとても寒いです。登下校の坂もきついですが筋トレになっています。卒業まであと一年。それも味わいながら頑張ります。



甲賀看護専門学校同窓会設立委員会の立ち上げと第1回総会・懇親会運営委員の皆様を紹介いたします。
ご協力いただきありがとうございました。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1期 植野勉、窪田祥子、福永康子 | 8期 本田理紗、高岸友佳里、町頭彩 |
| 2期 長田頼子、後藤香里、矢野茜 | 9期 森地加織、村井竜馬、山本香織 |
| 3期 高瀬みどり、藤井水紀、中尾大介 | 10期 藪純子、上西優子、安井健吾 |
| 4期 前田直弥、山本ゆかり、大島ゆきみ | 11期 川村真穂、森口亜衣佳、清水紀孝 |
| 5期 今澤瞳、森口弥季世、左子寿喜子 | 12期 中井直子、神戸僚斗、寺川亜希 |
| 6期 古武家尚子、山田翔、後村敦子 | 13期 山本奈菜、小西凌平、鶴飼ちなみ |
| 7期 大菅友美、谷美幸、田井中彰二 | 14期 谷川陽菜、永石奈津子、芦田翔悟 (敬称略) |

ご寄付のお礼

以下の方々から、同窓会にご寄付をいただきました。ここに感謝の意を表し、お名前を掲載いたします。

(2017年12月～2023年2月10日)

- | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------------------------|-----------------------|-------------------------|---|----------------------------|--|---|-----------------|-------------------|--------------------------|------------------------------------|---|
| 1期 植野勉
後山慎治
神鳥正栄
北野統之
窪田祥子
福永康子 | 2期 矢野雅大
長田頼子
矢野茜
後藤香里
森川由加里 | 3期 岡田奈央
郷田紗弥香
高瀬みどり | 3期 中尾大介
林美紀
矢野宏 | 4期 柿木博志
北川裕子
玉木千紗 | 5期 植野育美
左子寿喜子
多賀麻祐果
西田馨
福井陽子
的場真矢
森口弥季世
山口千尋 | 6期 後村敦子
7期 田井中彰二
谷美幸 | 8期 望月静香
藤本菜香
本田理紗
高岸友佳里
平野美保 | 9期 樋口梨加
前野裕人
村井竜馬
川村裕紀
森地加織 | 10期 藪純子
安井健吾 | 11期 森口亜衣佳
富山真衣 | 12期 寺川亜希
中井直子
神戸僚斗 | 13期 小西凌平
山本奈菜
中小路泰明
池上陽一郎 | 学校職員
学校長 富永芳徳
副校長 中尾裕子
教務主任 林カオリ
実習調整者 正木康子
神山恵子
専任教員 宇野三奈子
植野ルミ
元副学校長 石橋明子
元副学校長 小林美恵子
元教職員 細川洋子
杉江直子 |
|--|---|---------------------------|-----------------------|-------------------------|---|----------------------------|--|---|-----------------|-------------------|--------------------------|------------------------------------|---|

(敬称略)

収支報告 (2018年2月から2023年2月現在)

【収入の部】

年	日付	収入	備考
2018	2月3日	333,000	寄付金
		3,075	懇親会残金
		1,736	葉書代(¥62×28枚)
	2月16日	744	葉書代(¥62×12枚)
	2月20日	170,000	卒業生会費徴収(¥5000×34名)
	2月26日	3,000	寄付金
	3月6日	160,000	卒業生会費徴収(¥5000×32名)
2020	3月27日	4	銀行利息
	2月7日	4	銀行利息
	3月2日	155,000	卒業生会費徴収(¥5000×31名)
2021	8月7日	3	利息
	2月12日	3	利息
	3月23日	220,000	卒業生会費徴収(¥5000×44名)
2022	8月13日	4	利息
	2月10日	4	利息
	8月12日	5	利息
	3月9日	26,677	16期生ChargingKoka残金より寄付
2023	3月9日	175,000	卒業生会費徴収(¥5000×35名)
	2月9日	10,000	寄付金
合計		1,258,259	

【支出の部】

年	日付	収入	備考
2018	2月5日	49,444	設立準備費用
	3月16日	14,994	卒業祝い品
	2019 3月6日	20,736	卒業祝い品
	2020 3月2日	20,320	卒業祝い品
	2021 3月24日	28,160	卒業祝い品
	2022 3月9日	28,490	卒業祝い品
合計		162,144	
残金		1,096,115	



甲賀看護専門学校イメージキャラクター「ココフィー」

甲賀看護専門学校の公式キャラクターを学生&教員から募集しました。投票の結果、20期生若林理子さんの作品が採用されました!!
とても朗らかな性格で、いつも陰ながら学生を見守るチュールリップの精霊です。本校の教育理念にもある人間愛を表現することができるのは人であると考え、人型のキャラクターにしました。男女関係なく誰でも看護師になることができることを表し中性を意識しました。
髪はチュールリップ、服は本校のナース服を着ています。この羽は困っている人のもとへ飛んでいけるような行動力を表しています。そして、思いやりがこもった援助ができるよう、愛がたくさん入ったバスケットを持っています。



同窓会活動支援のための寄付のお願い

本会の運営は、寄付金と15期生以降の入会金を財源としています。これまでは第一回総会・懇親会の開催費の他に、毎年「卒業祝い品」を贈っています。(詳細は収支報告をご参照ください) 今後は、会報誌の年1回の発行、会員相互の親睦を図る会などの開催を予定しております。

母校の校舎や備品は大切に受け継がれており、開校22年を迎えた今も美しく保たれています。しかし、老朽化が目立つ箇所もあり、修繕が必要です。本会は母校の支援も目的としており、後輩の学習環境の整備・改善に貢献できればと考えております。会の発足から5年が経過し、運営費は確保されつつありますが、これからのより充実した活動のためにご寄付をお願いいたします。一口1000円から受け付けております。下記の口座宛に期生と氏名を明示の上お振込みいただくか、同窓会事務局(甲賀看護専門学校)で直接お手続きください。本会の趣旨をご理解いただき、ご協力のほど何卒よろしく願いいたします。

滋賀銀行 水口支店 口座番号：018230 口座名：甲賀看護専門学校同窓会 代表 中尾裕子

*氏名・連絡先・住所・所属先等の変更、新たな資格取得がありましたら甲賀看護専門学校にご連絡ください。ご協力よろしく願いいたします。
*甲賀看護専門学校ホームページでは同窓会のコンテンツを設けています。会則と令和4年度に調査した卒業後のキャリアアップ状況を掲載しております。ご参照ください。

甲賀看護専門学校 〒528-0051 滋賀県甲賀市水口町北内貴280の2番地 URL: <https://www.kokans.ac.jp/>
TEL(0748)65-6071 FAX(0748)65-6073 E-mail: postmaster@kokans.ac.jp



Home Page

公式LINE